

特定非営利活動法人 ワーカーズ わくわく
わくわくの里 個人情報保護への取り組みについて

(指針) 利用者及びその家族について、当法人は、円滑に介護サービスを提供するために正当な理由(生命や身体等に危機があるなど)がある場合を除き、契約中及び契約終了後も適切な個人情報保護に努めます。

(適用範囲)

- ① 小規模多機能居宅介護事業所 わくわくの里
- ② 上記事業所と契約している利用者および家庭を個人情報保護の範囲とします。

1. 個人情報を扱う原則

特定非営利活動法人 ワーカーズ わくわく は、ご利用者(ご本人およびご家族)の個人情報について、関係法令・横浜市の条例および、法人の職業倫理にしたがって、安全かつ適切に取り扱い、従業員に最低年一回個人情報の取扱についての研修を行っております。また、研修実施状況について横浜市へ報告を提出します。

2. 個人情報を扱う目的

居宅サービス計画(居宅介護計画書、サービス計画書)に沿って、ご利用者に対し、円滑にサービスを提供するため、以下の場合には、個人情報(ご利用者の氏名・性別・生年月日・住所・電話FAX番号、ご家族およびご連絡先になっている方の氏名・住所・電話FAX番号、緊急連絡先など)を利用します。

- (1) サービス担当者会議/サービス利用等に関する調整会議
- (2) 区福祉保健センター(こども家庭支援課/高齢障害支援課/生活支援課)
- (3) 相談支援事業=ご本人がかかわるすべての関係機関との連絡調整
- (4) 放課後等デイサービス事業=ご本人がかかわるすべての関係機関との連絡調整

★その他、必要に応じてご本人・ご家族などの承諾を得てご本人の最善の利益のために、使用します。

3. 適正で安全な管理について

適正な管理=利用目的に従い、個人データを正確で最新の内容に保ちます。

安全な管理=コンピュータ・個人ファイルは、技術的・組織的な安全保護措置を講じます。書面で入手したデータ以外の個人情報も、同様に取り扱います。

- * 取扱基準：個人情報を保護する目的を達成するために利用を限定します。また、個人情報を取り扱うパソコンおよび記憶媒体については、事業所外への持ち出しを禁止します。
- * パソコンの盗難を防止するために、一台ごとに鍵付のセキュリティロックをつけます。
- * 調整会議などで、やむを得ず記録(個別ファイル)、データを入力している媒体を持ち出す場合は、必ず複数の職員へその旨を事前に伝えることとします。使用後は、速やかに元の保管場所へ戻し、ロックをかけ、複数の職員へ返却の旨を伝えます。

4. 個人情報の開示、訂正、利用停止の請求について

当事業所が扱う個人データについて、ご利用者本人から開示・訂正・利用停止のご請求があった場合は、速やかに対応します

5. 苦情について

苦情が寄せられた場合は、誠意をもって速やかに対応します。

お問い合わせ：理事長 飯塚 陵子 045-303-2080

(年末年始を除く 平日9:00~17:00)

なお、わくわくの里事業において、担当理事が個人情報の取扱基準を定め、適切な教育・指導・監督を行います。情報の漏洩が発覚した場合には、速やかに臨時理事会にて最善の策を講ずることとし、その結果を横浜市こども青少年局／健康福祉局へ「重大事故」として報告します。

以上は、「横浜市個人情報の保護に関する条例」(2018年6月改訂)をもとに、わくわくの里バージョンとして作成しています。

特定非営利活動法人 ワーカーズ わくわく

横浜市瀬谷区南台1-17-3

代表電話045-303-2080

実施： 2008年4月1日

(2009年~2016年度改訂は略)

改訂： 2017年4月 1日 (下線)

改訂： 2018年3月24日 (下線)

改訂： 2019年1月30日 (下線)